世界のサステナブル投資ファンドの資金動向

2025 年第 1 四半期

地政学リスクと反 ESG による不透明感で過去最大の資金流出

モーニングスター・マネジャー・リサーチ
2025 年 4 月

目次

1　概要
2　グローバル
8　日本

元利　大輔
モーニングスター・ジャパン
マネジャーリサーチ部長
daisuke.motori@morningstar.com

水田　理沙
モーニングスター・ジャパン
マネジャーリサーチ部
アナリスト
risa.mizuta@morningstar.com

重要事項
Morningstar のアナリストの行為は、倫理規程/職業行為規範ポリシー、個人の証券等取引（またはこれに準ずる）ポリシーおよび投資調査ポリシーによって規定されています。利益相反に関する詳細については、以下をご覧ください。
global.morningstar.com/company/disclosures

概要

モーニングスターでは、四半期ごとにサステナブル投資ファンドの資金動向に関するグローバル・レポートを発表している。本日本語版レポートは、2025 年の第 1 四半期のグローバル・レポートの抜粋であり、サステナブル投資ファンドの市場動向を検証するとともに、日本におけるサステナブル投資ファンドの資金動向、運用資産残高、また新規設定についてを取り上げる。

主なポイント

- 世界のサステナブル投資ファンド全体の資金フローは、2024 年第 4 四半期に 181 億ドル（米ドル、以降特段の記載がない限り同様）の純資金流入から一転、2025 年第 1 四半期は地政学的環境の変化や反 ESG の動きの高まりを背景に、86 億ドル（推定値）の過去最大の純資金流出に見舞われた。
- 欧州のサステナブル投資ファンドは、2018 年以来初となる四半期ベースでの純資金流出が見られ、その規模は 12 億ドルに達した。204 億ドルの純資金流入が見られた前四半期とは対照的な結果となった。
- 米国では、サステナブル投資ファンドからの純資金流出が 10 四半期連続で続き、その純資金流出額は 61 億ドルに達した。アジアからも資金流出が続いたが、カナダ、オーストラリア・ニュージーランドでは資金流入も見られた。
- 世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高は 3 月末時点で 3.16 兆ドルと、前期とほぼ同水準を維持した。
- サステナブル投資ファンドの新規設定は減少し、2025 年第 1 四半期の新規設定は 54 本（前期は 86 本の新規設定）となった。日本では 2 本のサステナブル投資ファンドが同期間に新規設定された。
- ファンドのリブランディングの動きも更に活発になった。欧州ではグリーンウォッシング防止等のための規制に先駆け、第 1 四半期に 335 本のファンドが名称変更を行い、そのうち 116 本は ESG のキーワードをファンド名称から外している。
- ファンドの償還も引き続き活発で欧州では 94 本のファンドが償還・合併された。米国では四半期ベースで過去最多となる 20 本のファンドが償還された。
- ESG 投資家は、複雑かつ政治的な色合いの強い規制環境の中で対応を迫られている。米国では、連邦レベルでの気候変動対策の後退と州レベルでの対応が対立しており、欧州では経済成長と安全保障へのシフトが欧州グリーン・ディールからのメッセージを曖昧にしている。一方、アジアは引き続き気候重視の姿勢を一貫して維持している。

世界のサステナブル投資ファンド・ユニバース

世界のサステナブル投資ファンド・ユニバースは、目論見書や規制当局への提出書類などで、持続可能性、インパクト、ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素に焦点を当てることを表明しているオープンエンド型ファンドと ETF（上場投資信託）で構成されるものである。

本レポートでは、世界のサステナブル投資ファンドのユニバースを欧州、米国、その他の地域の国籍ごとに分類している。カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本についてはより詳細なデータを掲載している。中国、香港、インド、インドネシア、マレーシア、シンガポール、台湾、タイ、韓国は資産規模が比較的小さいため、「アジア（除く日本）」として分類している。**日本語版のレポートでは日本以外の詳細なデータは割愛しているため、各地域の詳細については、原文の英語版レポートを参照されたい。**

ここからは、世界のサステナブル投資ファンドにおける直近の資金動向に焦点を当て、2025 年第 1 四半期の地域別資金フロー、運用資産残高、新規設定について詳述する。以下の図表 1 は概要となる。

図表 1 世界のサステナブル投資ファンドの概要

	純資金流出入額		運用資産残高		ファンド数	
	2025年第1四半期	2024年第4四半期				
地域	10億米ドル	10億米ドル	10億米ドル	割合%	本数	割合%
欧州	-1.2	20.4	2,669	84	5,475	74
米国	-6.1	-4.3	330	10	510	7
アジア（除く日本）	-0.9	2.8	71	2	634	9
カナダ	0.3	-0.1	37	1	327	4
オーストラリア・NZ	0.3	0.4	31	1	256	3
日本	-0.9	-1.1	21	1	226	3
全体	**-8.6**	**18.1**	**3,159**		**7,428**	

出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

2025 年第 1 四半期は、世界のサステナブル投資ファンドは 86 億ドルの純資金流出を記録し、前期の 181 億ドルの純資金流入とは対照的な記録となった。

欧州のサステナブル投資ファンドにとって、モーニングスターが同リサーチを開始した 2018 年以来、初めての純資金流出を記録したことは特に注目すべき点である。欧州では、第 1 四半期にはサステナブル投資ファンドから 12 億ドルの資金が流出し、204 億ドルの純資金流入を記録した前四半期とは対照的な結果となった。

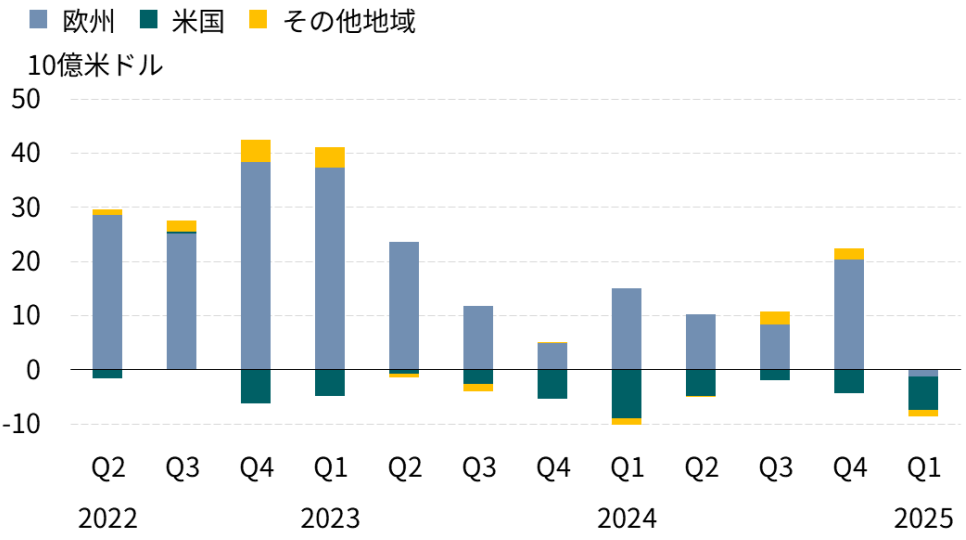
米国では 10 四半期連続で純資金流出となり、同四半期には、61 億ドルの純資金流出額を記録した。アジア（除く日本）でも資金流出が確認され、9 億 1,800 万ドルの純

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

資金流出額となり、前四半期の 28 億ドルの純資金流入額から大きく反転した形となる。一方、日本では 2025 年に入ってからも資金流出は続いているものの、純資金流出額は前四半期の 11 億ドルから、今期は 9 億ドル未満までに縮小し、やや落ち着きをうかがわせている。一方、カナダ、オーストラリア・ニュージーランドでは資金流入が見られ、各々約 3 億ドルの純資金流入が見られた。

2025 年の第 1 四半期の世界のサステナブル投資ファンドの成長率 [1]は-0.27%となり、前四半期の 0.54%から大きく落ち込む結果となった。一方、同時期のファンド市場全体の成長率は 0.9%であった。同ファンド市場全体の流入額は前四半期の 8,470 億ドルから 5,300 億ドルへと低下した。

図表 2 世界のサステナブル投資ファンドの四半期資金純流出入



出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

2025 年第 1 四半期の世界のサステナブル投資ファンドからの資金流出の主な要因は、欧州における解約であった。前四半期までは、欧州のサステナブル投資ファンドは一貫して資金流入を維持しており、2023 年第 4 四半期に世界で初の純流出が記録された際も、欧州では流入が続いていた。しかし今四半期は、初めて四半期ベースで純資金流出が確認され、これは 2018 年以来初めてとのことなる。欧州全体のファンド市場では資金流入が見られたことを踏まえると、対照的な結果となった。

背景にはいくつかの要因が考えられ、一つ目にドナルド・トランプ氏の米国大統領復帰を始めとした、地政学リスクの複雑化や気候変動を含むサステナビリティへの優先順位の低下 [2]が考えられる。加えてトランプ政権による Diversity, Equity,

1 2025 年の第 1 四半期開始時点の運用資産残高に対する純資金流入額の割合
2 *Brussels under pressure to curb green agenda in response to Trump*: https://www.ft.com/content/da348979-0261-4468-ba93-d6164fb1865b

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

Inclusion（DEI）を標的とした大統領令[3]など、反 ESG 的な政策[4,5]が新たな法的リスクを生み出し、米国の運用会社が ESG の実績[6]やサステナブル投資の推進[7]を表明する際により慎重な姿勢を取るようになってきている。こうした米国企業における反 ESG などの政治的圧力は、米国外にも広がり、欧州でも規制変化やサステナブル投資ファンドの構造変化と相まって、この不透明感は更に強まっている。特に再生可能エネルギーが含まれるセクターにおけるパフォーマンス懸念は根強く、サステナブル投資への投資意欲を抑制させるきっかけにもなっている。

世界のサステナブル投資ファンド市場は縮小、運用残高は 3.16 兆ドルを下回る

世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高は、2025 年 3 月末時点で 3.16 兆ドル（前四半期 3.18 兆ドル、前期比 0.7%減）を下回った。なお、2025 年第 1 四半期の Morningstar グローバル株式指数は 1.4%下落、Morningstar グローバルコア債券指数は 2.5%の上昇であった。

地域別では、欧州が全体の 84%を占め、米国がそれに続き 10%を占めている。

図表 3 世界のサステナブル投資ファンドの運用資産残高四半期推移

出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

3 *DEI Rollbacks: Impact on ESG Risk Ratings and Broader Implications for Investors*: https://www.sustainalytics.com/esg-research/resource/investors-esg-blog/dei-rollbacks-impact-on-esg-risk-ratings-broader-implications-investors

4 *What to know about Trump's first executive actions on climate and environment*: https://apnews.com/article/trump-executive-orders-climate-change-environmental-policy-e4fb2b2495c0bcf880fab46605936b09

5 *As "Fearless Girl" sponsor retreats, so do diversity fund flows* https://www.reuters.com/markets/us/fearless-girl-sponsor-retreats-so-do-diversity-fund-flows-2025-03-12/

6 *BlackRock quits climate group as Wall Street lowers environmental profile:* https://www.reuters.com/sustainability/blackrock-quits-climate-group-wall-streets-latest-environmental-step-back-2025-01-09/

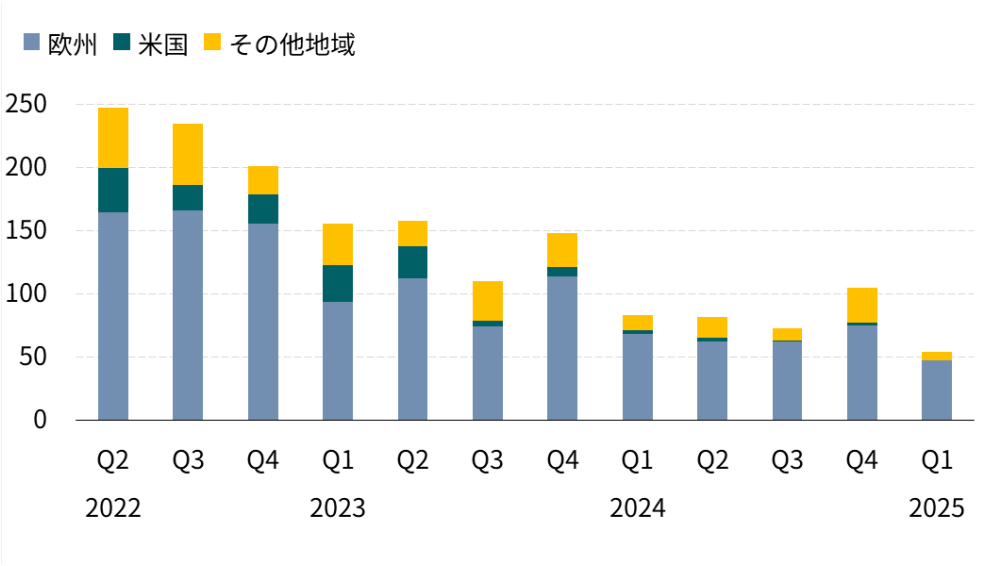
7 *Proxy Voting: Asset Managers Lose Appetite for ESG Resolutions:* https://www.morningstar.com/sustainable-investing/proxy-voting-asset-managers-lose-appetite-esg-resolutions

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

世界のサステナブル投資ファンドの新規設定

経済・政治両面での逆風の中、2025 年第 1 四半期の世界のサステナブル投資ファンドの新規設定は過去最低水準に落ち込んだ。新規設定ファンド数はわずか 54 本であり、前四半期に記録した 105 本から大幅に減少した。なお、今後のレポート執筆時点で、モーニングスターへの追加報告により新規設定ファンドの数が増える可能性があり、54 本という数値は上方修正される可能性が高い点に留意が必要である。

図表 4 世界のサステナブル投資ファンドの新規設定数の四半期推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

ブラックロックが首位に

以下では、サステナブル投資ファンドを世界的に展開している主要な資産運用会社を紹介する。世界最大の運用会社であるブラックロックは、ESG に特化したオープンエンド型ファンドおよび ETF で 4,028 億ドル超の運用資産残高を誇り、サステナブル投資分野で圧倒的な存在感を示している。これに大きく差をつけられつつも、UBS が約 1,789 億ドルで 2 位、Amundi が約 1,776 億ドルで 3 位となっている。

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

図表 5 サステナブル投資ファンドの運用資産残高の上位運用会社

総合

運用会社名	資産残高 (10億ドル)	2024年 資金フロー (100万ドル)
BlackRock (incl. iShares)	402.8	2,274
UBS (incl. Credit Suisse)	178.9	-3,000
Amundi (incl. Lyxor)	177.6	-3,065
Swisscanto	103.1	2,784
DWS (incl. Xtracker)	99.2	-4,638
BNP Paribas	86.8	2,194
Natixis	83.8	1,937
Nordea	71.4	3,766
KBC	58.3	1,502
Vanguard	58.1	671
Northern Trust	56.2	1,395
Allianz Global Investors	50.5	895
Pictet	41.2	-2,002
Handelsbanken	40.1	-541
JPMorgan	38.1	853
Morgan Stanley	37.7	-370
Royal London	36.9	446
Parnassus	34.8	-2,222
Union Investment	34.4	-97
State Street	32.6	-1,227

アクティブ運用

運用会社名	資産残高 (10億ドル)	2024年 資金フロー (100万ドル)
BlackRock (incl. iShares)	110.6	-1,876
Natixis	81.1	1,898
Amundi (incl. Lyxor)	79.9	-592
UBS (incl. Credit Suisse)	73.7	-316
Nordea	71.4	3,766
KBC	58.3	1,508
Swisscanto	56.9	1,216
DWS (incl. Xtracker)	54.7	-1,424
BNP Paribas	52.5	329
Allianz Global Investors	50.5	895
Pictet	40.0	-1,826
JPMorgan	37.1	708
Royal London	36.8	451
Parnassus	34.8	-2,222
Union Investment	34.4	-97
Goldman Sachs (incl. NN IP)	30.2	-597
Vontobel	28.0	-329
AXA IM	27.7	-777
Dimensional	27.6	479
Robeco	27.3	-762

パッシブ運用

運用会社名	資産残高 (10億ドル)	2024年 資金フロー (100万ドル)
BlackRock (incl. iShares)	292.2	4,150
UBS (incl. Credit Suisse)	105.2	-2,684
Amundi (incl. Lyxor)	97.7	-2,472
Vanguard	54.7	671
Northern Trust	50.9	1,423
Swisscanto	46.3	1,568
DWS (incl. Xtracker)	44.5	-3,214
Handelsbanken	35.6	-681
BNP Paribas	34.3	1,865
State Street	27.5	-855
Legal & General	22.8	1,269
Länsförsäkringar	22.0	-338
Invesco	17.5	-669
Cathay Securities Invest. Trust	12.7	1,532
Morgan Stanley	10.7	95
HSBC	9.7	-8
Capital Investment Trust	8.5	268
Storebrand Fonder	8.2	-252
Scottish Widows	8.2	212
Mercer Global Investments	8.0	37

出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

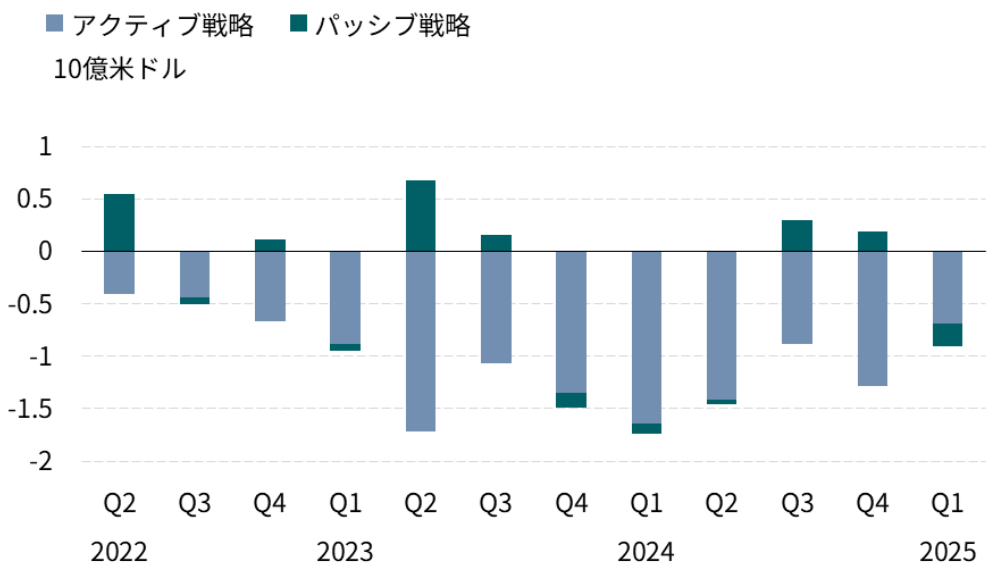
日本

2025 年第 1 四半期、日本のサステナブル投資ファンド（公募追加型株式投資信託と ETF）は 11 四半期連続で資金流出となり、9 億ドル（1,375 億円）以上の純資金流出額を記録した。これは同期間に日本のファンド市場全体が 435 億ドル（6.6 兆円）の純資金流入を記録したことと対照的である。

野村アセットマネジメントの **NEXT FUNDS MSCI ジャパン気候変動指数（セレクト）連動型上場投信**が 2024 年第 4 四半期に設定され、5 億ドル以上の資金流入を記録したが、2025 年第 1 四半期には 3.19 億ドル（485 億円）の純資金流出を記録し、最大の資金流出ファンドとなった。

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

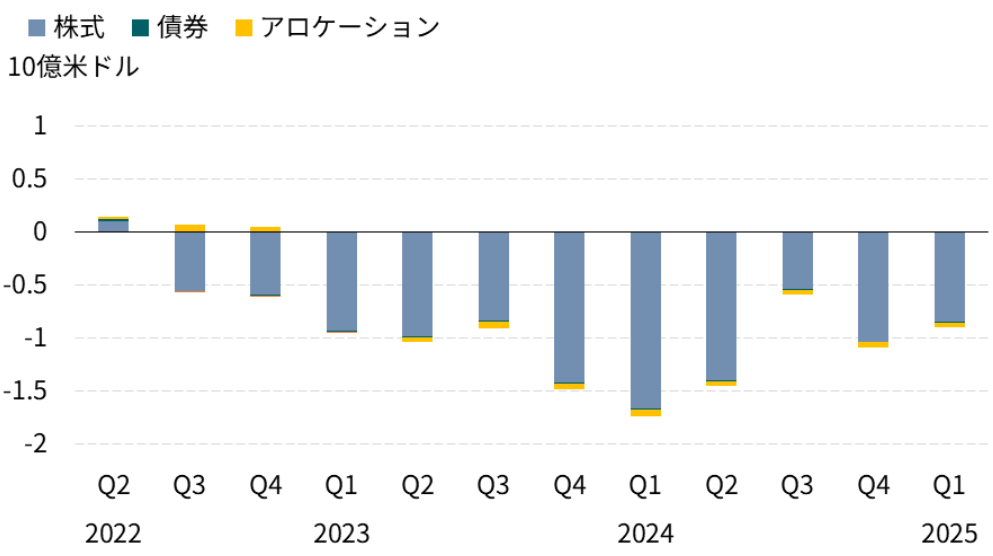
図表 6 日本のサステナブル投資ファンドの純資金流入額の四半期推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

日本のサステナブル投資を行う株式ファンドは同四半期の純資金流出額のほぼ全額（95%）を占める結果となった。資金流出額が大きかった上位 20 位中、19 本のファンドが株式ファンドであった。

図表 7 日本のサステナブル投資ファンドの資産クラス別純資金流入額の四半期推移



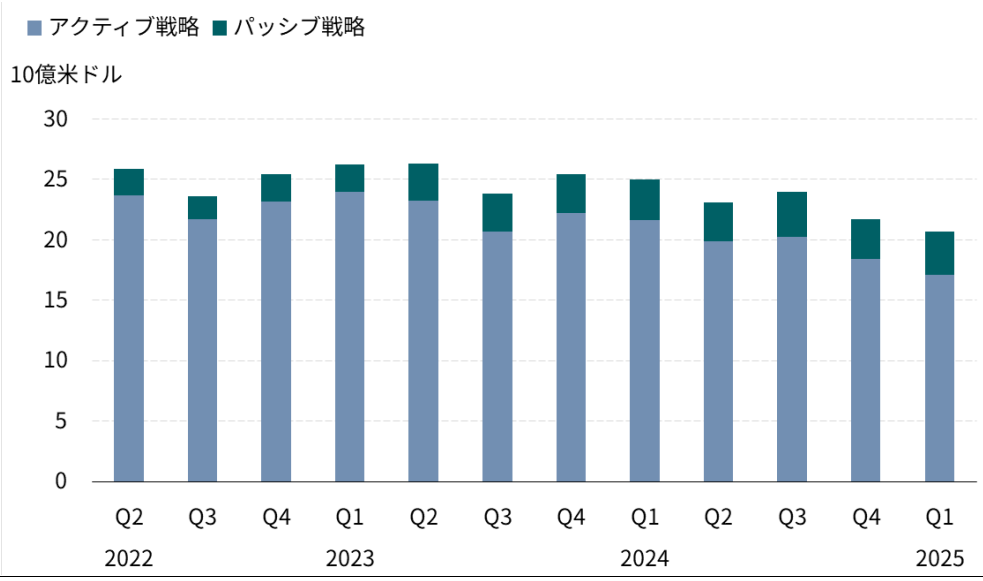
出所: Morningstar Direct、2026 年 3 月末時点

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

運用資産残高

日本籍のサステナブル投資ファンドの 2025 年第 1 四半期末の運用資産残高は 206 億ドル（3 兆円）であった。アクティブ運用ファンドが依然として大部分を占め、サステナブル投資ファンドの運用資産残高全体の 83%を占めている。

図表 8 日本のサステナブル投資ファンドの運用資産残高の四半期推移



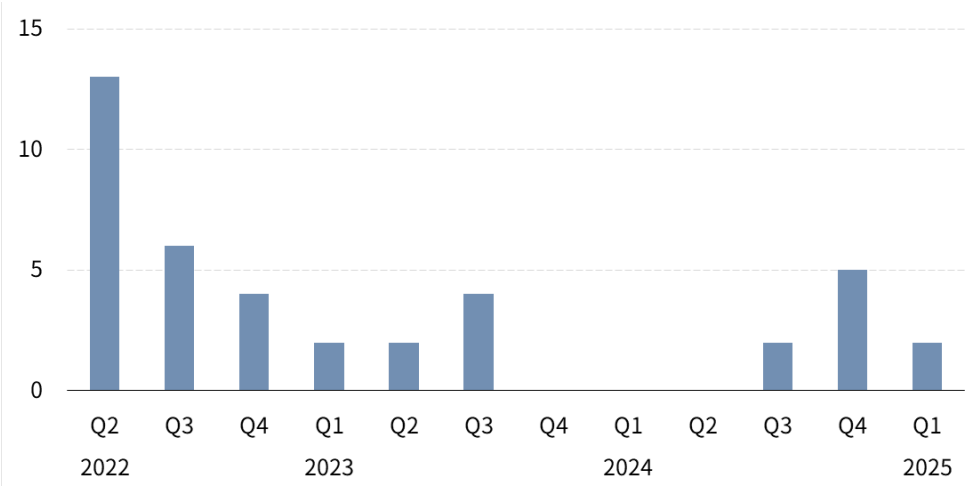
出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

新規設定

2025 年第 1 四半期、日本市場のサステナブル投資ファンドは**みずほサステナブルファンドシリーズ – ロベコ・スマート・エネルギー**、**ピクテ・ウォーター・ファンド**、の 2 本の新規設定があった。**みずほサステナブルファンドシリーズ – ロベコ・スマート・エネルギー**は世界の企業の中から、スマートエネルギー（持続可能で再生可能な手段に基づくエネルギーの電化利用が進展し、二酸化炭素排出量の削減が進んだ社会を推し進める考え方や手法）の発展に貢献し、変革を促す分野で成長が期待される企業の株式に投資を行うファンドである。また、**ピクテ・ウォーター・ファンド**は社会に必要なインフラ事業としての安定性が期待できる上下水道ビジネス、顧客との長期的な契約による事業の安定性が期待できるウォーター・テクノロジーのそれぞれに関連する企業などを含む世界の水関連企業の株式に投資を行うファンドである。

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

図表 9 日本のサステナブル投資ファンドの新規設定ファンド数推移



出所: Morningstar Direct、2025 年 3 月末時点

一方、同四半期には**アムンディ DC ファンド 世界株式・次世代教育関連、アムンディ・次世代教育関連ファンド、ブラックロック・世界株式インパクト投資ファンド(DC)、iTrust オールメガトレンド**、そして**損保ジャパン SRI オープン**を含む 5 本のファンドが償還された。

規制動向

日本では 2025 年第 1 四半期には特段新しい規制上の動きは報告されていない。金融庁は引き続きワーキンググループを定期的に開催し、サステナブル投資についての意見交換を様々な市場参加者や官民の多様なプレイヤーと行っている。

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が新たにサステナビリティ投資方針に対する考え方を発表し、取り組みを改めて明言したことは注目すべき動向であろう。運用資産残高 1.7 兆ドルを誇る世界最大の年金基金は、「サステナビリティに関する問題による資本市場への負の影響が低減することは、GPIF のような「ユニバーサール・オーナー」が投資リターンを長期で追及するうえでは不可欠」と述べている。GPIF は、「サステナビリティに関する課題は、特定の企業やアセットクラスのみに影響するものではない」とし、全資産についてサステナビリティ投資を推進する姿勢を示している。また、資産特性に応じた多様なサステナビリティ投資の手法を選定し、組み合わせて用いる方針を掲げており、ESG インテグレーション、エンゲージメント・議決権行使、ESG 指数投資・ESG アクティブファンド投資、インパクトを考慮した投資、サステナビリティに関するリスク分析（気候変動等）、関連団体等との協働等などがそれら手法に含まれる。

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。

Morningstar Manager Research Services ディスクロージャー（日本）

モーニングスター・マネジャー・リサーチについて
モーニングスター・マネジャー・リサーチは、運用商品の戦略に対し、独立の立場からのファンダメンタル分析を提供しています。運用担当者（People）、運用プロセス（Process）、運用会社（Parent）の 3 つの主要な評価軸についてのアナリストのリサーチに基づく見解は、モーニングスター・メダリスト・レーティングとして公表されます。世界中のリサーチチームが、投資商品、資産クラス、および各地域にまたがる戦略について、詳細なアナリスト・レポートを発行しています。 メダリスト・レーティングは、意見であり、事実の表明するものではなく、将来のパフォーマンスを示唆または保証するものでもありません。

モーニングスター・マネジャーリサーチ・サービスについて
モーニングスター・マネジャーリサーチ・サービシズは、モーニングスターのファンドリサーチ・レポート、レーティング、ソフトウェア、ツール、およびモーニングスター独自のデータの提供と、モーニングスターのマネジャーリサーチ・アナリストへのアクセスを同時に実現させています。銀行、ウェルスマネジャー、保険会社、政府系ファンド、年金基金、エンダウメント（寄贈基金）、財団などの機関投資家が、内部で行うデューデリジェンスを補完する機能を提供しています。モーニングスターのマネジャー・リサーチ・アナリストは、Morningstar, Inc.のさまざまな完全子会社（Morningstar Research Services LLC (USA)、Morningstar UK Ltd、および Morningstar Australasia Pty Ltd が含まれますが、これらに限定されません）に所属しています

お問い合わせ先
Morningstar Manager Research Services
ManagerResearchServices@Morningstar.com

モーニングスター・ジャパン株式会社
東京都港区新橋 1-1-1　日比谷ビルディング 6 階

©2025 Morningstar. All Rights Reserved. 別段の合意がない限り、本資料は配信者の所在する国においてのみ使用することができます。本資料に記載されている情報、データ、分析、意見は、投資助言ではなく情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。また、情報の正確性や完全性を保証するものでもありません。本資料の内容は、記載された日付時点のものであり、予告なく変更されることがあります。モーニングスターは、法律により定められている場合を除き、本資料の情報、データ、分析、意見を利用して行ったいかなる投資の判断、損失、損害に責任は負いません。本資料にはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。リサーチに関するライセンス利用のお問い合わせは+1 312 696-6869までご連絡ください。

© 2025 Morningstar, Inc. All rights reserved. 本レポートの全ての著作権は Morningstar, Inc.（以下「モーニングスター」）に帰属します。本レポートに含まれる情報は、正確性、完全性、適時性を表明、保証するものではありません。本レポートは投資助言ではなく、情報提供のみを目的としたもので銘柄の売買を推奨するものではありません。本レポートにはモーニングスターの専有情報が含まれており、モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。過去のパフォーマンスは、必ずしも金融商品の将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。本レポート末尾の重要なディスクロージャーをご参照ください。